

講師の加藤さんにお聞きしたいことがある方は、ご記入ください

1.意識啓発の様なイベントはそもそも啓発を必要としているので人が集まりにくい。どのような工夫が必要なのか知りたい。

★その通りですね。アイデアとしては、単独で行わず、複数の啓発系と合同でやると、それぞれが集客し、声を掛けられた以外のものに意外と関心をもってくれたりします。

★あまりやりたくないですが、とにかく人寄せパンダ作戦は必要。子ども向けキャラクターショーの集客はスゴすぎます。私がやっているのは、とにかく音楽を入れること。カタイテーマの啓発でも、音楽が入ることで柔らかく見えてきますし、テーマと音楽を関連付けるのはやりやすいですね。例えば、環境省エネ系なら、電気楽器を使わないジャンルとか。アマチュアであっても、そこそこの場所を用意すれば、ミュージシャン側が集客してくれます。そんな winwin の関係を。

2.行政マンであるがゆえ、まちづくりで困ることはありませんか。どうしても小さいまちだと何でも仕事として見られてしまい、言われ踏み入れることができない場合があるので

★踏み入れてしまってもいいんじゃないでしょうか。自分も市民の一人ですから。

★行政マンとしてまちづくりに関わっているつもりはないので、あまり実感がありません。ただ、一般の方よりも知識や情報、人脈はあることが多いので、それはプラスとして捉えて参加しています。

お渡しした「ALPS」の取材でもお話していますが、そこが過ぎると、行政マンとしての行動に期待されてしまい、その団体が自立的に活動しなくなってしまうので、そんな兆候が見えたら要注意。

3.結婚相談所は民間の会社にまかせた方がいいと思いませんでしたか？

★お話ししましたとおり、結婚相談は行政では無理だと思います。なので、私は、民間会社(個人経営の相談所)のお手伝いをし、その後は NPO 法人でやりました。

4.『「やめることができる」事が良いまちづくり』に感動しました。勇気ある言葉と思いますが、その勇気はどこから持てたのですか？

★「やらされている」や「やらなければならない」は楽しくありません。楽しくなければまちづくりではありませんから。自分に正直にただ、勇気なんていうカッコいいものではないと思っています。

★お話しした「向上心タイプ」のまちづくりは、始めることも、終わることも自分たちの意思です。

5.加藤さんの発想が着眼点・・・どこから出てくるのか？ポーッと生きていない姿がありありとわかります。今後も期待しています。

★ありがとうございます。「やわらかあたま」大切にしましょう。

6.企画して、失敗例もあるのでしょうか。

★たくさんありますし、結構落ち込んだりもしてます(笑)。でも、失敗も、数年後なら同じことをやっても成功したりします。「失敗」は「間違い」ではないのですよね。

7.いろんな方と協力して事業をされた話がありましたが、自治会との関わりを持たれたことはあるのでしょうか？

★自分が住んでいる町内会は、造成地で、全く何も無いところにいきなりたくさんの方が建ちました。町内会を一から作ったのですが、私はその設立から5年目まで、副会長や総務部長をやり、運営基盤を作りました。世帯主の平均年齢が30代だったので、他の町内会とはちょっと違うコンセプトで始めました。(これは話すとも長くなるので・・・)

★関わりを持ったというより、その町内会自体をちょっと面白く動かしていた感じです。

8.加藤さんの取り組みは公務員の枠を超えています。公務員として遠慮していることはありますか？

★公務員がまちづくり活動をしているのではなく、まちづくり活動をしている人のひとりがたまたま公務員だった・・・だけです。公務員を意識して活動はしていません。(良いのか、悪いのか・・・)